

“医療安全なくして先進医療なし”

名大病院では、日本最高水準の先進医療が行われています。しかし、医療は本来不確実で、大きなリスクを伴うものです。私たちは少しでもこれらのリスクを軽減し、全力で患者さんの安全確保に努めます。

業務目標

1. 医療に伴って患者さんに発生する、さまざまな有害な出来事を迅速にキャッチし、病院をあげての救命・治療に取り組みます。
2. 事故情報やインシデント情報を調査、分析して患者さんに正確な事実をお知らせするとともに、スタッフ教育やシステム改善に力を注ぎ、再発防止に努めます。
3. 医療の質がどの程度向上しているかを客観的に測定しながら、よりよい医療の提供をめざします。

業務体制

教授（1名）、医師（1名）、看護師（2名）、弁護士（1名）、事務職員（6名）の計11名のスタッフと、院内全部門に配置されている約120名のクオリティ&セーフティマネージャーが一丸となって患者さんの安全を護ります。

業務内容

患者さんにより安全で質の高い医療を提供できるよう、私たちは以下のような業務に取り組んでいます。

1. 治療中の不測のトラブル等に対し、病院全体で対応できる治療体制の構築
2. 全部門からのインシデント情報の集積と分析、事故予防策の検討
3. 医療事故等に対する第三者による客観的事例調査、原因究明と再発防止策の指導
4. 院内の各種安全マニュアル、標準対応指針などの策定、各部門との連携
5. 院内研修、学生教育による安全意識の高い医療者の育成と、安全文化の醸成

—患者さんが安心して、納得のいく治療を受けられますように—

